(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2017-200579
(P2017-200579A)
(43)公開日　平成29年11月9日(2017.11.9)

(51)Int.Cl.		F I		テーマコード（参考）
A63B 69/36	(2006.01)	A63B	69/36	514D

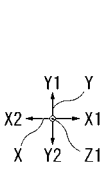
審査請求 未請求　請求項の数 15　ＯＬ　（全 18 頁）

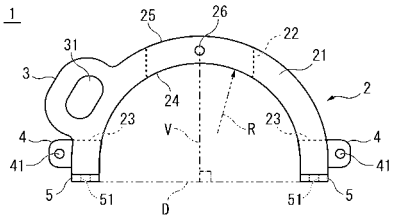
(21)出願番号　特願2017-88083(P2017-88083)
(22)出願日　平成29年4月27日(2017.4.27)
(31)優先権主張番号　特願2016-92137(P2016-92137)
(32)優先日　平成28年4月29日(2016.4.29)
(33)優先権主張国　日本国(JP)

(71)出願人　516131197
株式会社クラヤシキ製作所
長野県塩尻市大字広丘野村１８０６番地
(74)代理人　100199819
弁理士　大行　尚哉
(72)発明者　小松　稔
長野県塩尻市大字広丘野村１８０６番地
株式会社クラヤシキ製作所内
(72)発明者　小林　一敏
長野県塩尻市大字北小野４９５６番地　塩嶺カントリークラブ内

(54)【発明の名称】パッティング練習具

(57)【要約】
【課題】ターゲット形状が常に一定であると共に、ポケットへの収納およびカラビナ等の保持具による保持が考慮されているパッティング練習具を提供する。
【解決手段】パッティング練習具１は、非可撓性で、互いに対向する第１側壁２４および第２側壁２５を有し、第１側壁２４がゴルフボールＢの直径より大きくゴルフ競技におけるカップの半径以下の曲率半径Ｒで内向きの半円弧状に湾曲するターゲット部２と、第２側壁２５から張り出し、貫通孔３１が形成されたキャッチャー部３とを備える。
【選択図】図１





【特許請求の範囲】
【請求項１】
非可撓性のパッティング練習具であって、
互いに対向する第１側壁および第２側壁を有し、当該第１側壁がゴルフボールの直径より大きくゴルフ競技におけるカップの半径以下の曲率半径で内向きの半円弧状に湾曲するターゲット部と、
前記第２側壁から張り出して貫通孔が形成されたキャッチャー部と、を備えるパッティング練習具。
【請求項２】
請求項１に記載のパッティング練習具であって、
前記曲率半径が前記カップの半径と同じであるパッティング練習具。
【請求項３】
請求項２に記載のパッティング練習具であって、
前記第２側壁の端部から張り出し、ゴルフボールの半径より大きく前記曲率半径よりも小さい第２の曲率半径で内向きの半円弧状に湾曲する第３側壁を有する小ターゲット部を備えるパッティング練習具。
【請求項４】
請求項１ないし３のいずれか一項に記載のパッティング練習具であって、
前記第２側壁が外向きに湾曲するパッティング練習具。
【請求項５】
請求項１ないし４のいずれか一項に記載のパッティング練習具であって、
前記第２側壁の両端部から突出して貫通孔が形成された水平突出部を備えるパッティング練習具。
【請求項６】
請求項１ないし５のいずれか一項に記載のパッティング練習具であって、
前記ターゲット部の両端からターゲット部の厚み方向に突出し、前記第１側壁の半円稜線における弦の方向および当該厚み方向に垂直な方向に貫通する貫通孔が形成された垂直突出部を備えるパッティング練習具。
【請求項７】
請求項１ないし６のいずれか一項に記載のパッティング練習具であって、
前記ターゲット部に貫通孔が形成されたパッティング練習具。
【請求項８】
請求項７に記載のパッティング練習具であって、
前記ターゲット部に形成された貫通孔が前記第１側壁の半円稜線における弦の垂直二等分線上にあるパッティング練習具。
【請求項９】
請求項１ないし８のいずれか一項に記載のパッティング練習具であって、
前記ターゲット部は、中央部および両端部の厚みが部分的に厚くなっているパッティング練習具。
【請求項１０】
請求項１ないし８のいずれか一項に記載のパッティング練習具であって、
前記ターゲット部は、中央部で第１分割ターゲット部分と第２分割ターゲット部分とに分割されて構成されると共に、当該第１分割ターゲット部分と当該第２分割ターゲット部分とを、半径方向に延びる折りたたみ線に対して折りたたみ可能に接続するヒンジ部を有するパッティング練習具。
【請求項１１】
請求項１０に記載のパッティング練習具であって、
前記ターゲット部は、前記第１分割ターゲット部分および前記第２分割ターゲット部分それぞれにおいて、前記折りたたみ線に対して非対称の位置で厚み方向へ突出する複数の下駄体を有すると共に、折りたたんだ時に少なくとも当該下駄体に対面する部分の厚みが

当該下駄体と干渉しないように薄く形成されているパッティング練習具。
【請求項１２】
請求項１０または１１に記載のパッティング練習具であって、
前記ターゲット部は、折りたたんだ時に対面するそれぞれの位置に、当該折りたたんだ形態を維持可能とする第１維持部および第２維持部を有するパッティング練習具。
【請求項１３】
非可撓性のパッティング練習具であって、
互いに対向する第１側壁および第２側壁を有し、当該第１側壁がゴルフボールの直径より大きくゴルフ競技におけるカップの半径以下の曲率半径で内向きの半円弧状に湾曲する第１ターゲット部と、
前記第２側壁から張り出して貫通孔が形成されたキャッチャー部と、
前記第１側壁と同形状の第４側壁を有する第２ターゲット部と、
前記第１ターゲット部および前記第２ターゲット部のそれぞれに固定され、前記第１側壁と前記第４側壁とを対応させて当該第１ターゲット部および当該第２ターゲット部を重ね合わせて連結可能とする第１連結部および第２連結部と、を備えるパッティング練習具。
【請求項１４】
請求項１３に記載のパッティング練習具であって、
前記第１連結部および前記第２連結部の一方がマグネットであり、他方がマグネットまたは着磁性を有する金属であるパッティング練習具。
【請求項１５】
請求項１３または１４に記載のパッティング練習具であって、
前記第１ターゲット部の両端から前記第１ターゲット部の厚み方向に突出し、前記第１側壁の半円稜線における弦の方向および当該厚み方向に垂直な方向に貫通する貫通孔が形成された垂直突出部を備えるパッティング練習具。

【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、ゴルフ競技におけるパッティングの練習の際に用いられるパッティング練習具に関するものである。さらに詳しくは、携帯されてパッティングのターゲットとして使用されるパッティング練習具に関するものである。
【背景技術】
【０００２】
ゴルフ競技のスタート前のパッティング練習において、パター練習場に数個しか形成されていないカップ（ホール）に、これを狙うプレイヤーが集中し、十分な練習ができない場合がある。また、パター練習場において練習したいグリーン傾斜部にカップが形成されておらず、目的としたラインでの練習ができない場合がある。これらの場合に、他のプレイヤーとは別の場所で練習したり目的のラインで練習したりできるように、自分専用のターゲットとなるカップに見立てたパッティング練習具を携帯しておくと便利である。
【０００３】
このような携帯可能なパッティング練習具として、特許文献１にはパター、アプローチの練習用ターゲットが開示されている。このパター、アプローチの練習用ターゲットは、円環状の弾性変形可能な紐状部材を含んで構成され、紐状部材の少なくとも長手方向の一部はゴルフボールがこの紐状部材を乗り越えることができる大きさ形状で形成されているものである。また、特許文献２にはゴルフ練習用カップ・リングが開示されている。このゴルフ練習用カップ・リングは、湾曲形伸縮性テープより成る可撓性円形環であって、テープが外周縁から内周縁に向かって上方に傾斜し、テープの内外面が円錐面を形成したものである。
【先行技術文献】

【特許文献】
【０００４】
【特許文献１】実用新案登録第３１５５０８５号公報
【特許文献２】実用新案登録第３１８６２５７号公報
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００５】
しかしながら、特許文献１および２に開示されているような弾性変形可能または可撓性であるといったパッティング練習具は、変形させてポケットに収納することは可能であるが、練習時にも変形してターゲット形状が一定とならない虞がある。ターゲット形状が一定でないと、プレイヤーは、一定のパッティング感覚を身に着けることが困難になる。また、これらの弾性変形可能または可撓性であるといったパッティング練習具は、パターカバーに設けられたカラビナ等の保持具に保持させて携帯した場合に伸びてちぎれてしまう虞がある。また、これらの虞を低減するために、仮に特許文献１および２に開示されているような形状で非可撓性のパッティング練習具にしたとすると、このパッティング練習具は、円環形状で縦横の幅寸法が大きいままであるため、ポケットへの収納が困難である。
【０００６】
本発明は、かかる改善すべき課題に鑑みてなされたものであり、ターゲット形状が常に一定であると共に、ポケットへの収納およびカラビナ等の保持具による保持が考慮されているパッティング練習具を提供することを課題としている。
【課題を解決するための手段】
【０００７】
上記課題を解決すべく、第１観点のパッティング練習具は、非可撓性のパッティング練習具であって、互いに対向する第１側壁および第２側壁を有し、第１側壁がゴルフボールの直径より大きくゴルフ競技におけるカップの半径以下の曲率半径で内向きの半円弧状に湾曲するターゲット部を備えている。また、このパッティング練習具は、第２側壁から張り出して貫通孔が形成されたキャッチャー部を備えている。
【０００８】
また、第２観点のパッティング練習具は、第１観点のパッティング練習具であって、曲率半径がゴルフ競技におけるカップの半径と同じである。
【０００９】
また、第３観点のパッティング練習具は、第２観点のパッティング練習具であって、第２側壁の端部から張り出し、ゴルフボールの半径より大きく第１側壁の曲率半径よりも小さい第２の曲率半径で内向きの半円弧状に湾曲する第３側壁を有する小ターゲット部を備えている。
【００１０】
また、第４観点のパッティング練習具は、第１観点から第３観点のいずれかのパッティング練習具であって、第２側壁が外向きに湾曲している。
【００１１】
また、第５観点のパッティング練習具は、第１観点から第４観点のいずれかのパッティング練習具であって、第２側壁の両端部から突出して貫通孔が形成された水平突出部を備えている。
【００１２】
また、第６観点のパッティング練習具は、第１観点から第５観点のいずれかのパッティング練習具であって、ターゲット部の両端からターゲット部の厚み方向に突出し、第１側壁の半円稜線における弦の方向および厚み方向に垂直な方向に貫通する貫通孔が形成された垂直突出部を備えている。
【００１３】
また、第７観点のパッティング練習具は、第１観点から第６観点のいずれかのパッティング練習具であって、ターゲット部に貫通孔が形成されている。

【００１４】
また、第８観点のパッティング練習具は、第７観点のパッティング練習具であって、ターゲット部に形成された貫通孔が第１側壁の半円稜線における弦の垂直二等分線上にある。
【００１５】
また、第９観点のパッティング練習具は、第１観点から第８観点のいずれかのパッティング練習具であって、ターゲット部の中央部および両端部の厚みが部分的に厚くなっている。
【００１６】
また、第１０観点のパッティング練習具は、第１観点から第８観点のいずれかのパッティング練習具であって、ターゲット部が中央部で第１分割ターゲット部分と第２分割ターゲット部分とに分割されて構成されている。また、このパッティング練習具は、第１分割ターゲット部分と第２分割ターゲット部分とを、半径方向に延びる折りたたみ線に対して折りたたみ可能に接続するヒンジ部を有している。
【００１７】
また、第１１観点のパッティング練習具は、第１０観点のパッティング練習具であって、ターゲット部が第１分割ターゲット部分および第２分割ターゲット部分それぞれにおいて、折りたたみ線に対して非対称の位置で厚み方向へ突出する複数の下駄体を有すると共に、折りたたんだ時に少なくとも下駄体に対面する部分の厚みが下駄体と干渉しないように薄く形成されている。
【００１８】
また、第１２観点のパッティング練習具は、第１０観点または第１１観点のパッティング練習具であって、折りたたんだ時に対面するそれぞれの位置に、折りたたんだ状態を維持可能とする第１維持部および第２維持部を有している。
【００１９】
また、第１３観点のパッティング練習具は、非可撓性のパッティング練習具であって、互いに対向する第１側壁および第２側壁を有し、第１側壁がゴルフボールの直径より大きくゴルフ競技におけるカップの半径以下の曲率半径で内向きの半円弧状に湾曲する第１ターゲット部を備えている。また、このパッティング練習具は、第２側壁から張り出して貫通孔が形成されたキャッチャー部を備えている。また、このパッティング練習具は、第１側壁と同形状の第４側壁を有する第２ターゲット部を備えている。また、このパッティング練習具は、第１ターゲット部および第２ターゲット部のそれぞれに固定され、第１側壁と第４側壁とを対応させて第１ターゲット部および第２ターゲット部を重ね合わせて連結可能とする第１連結部および第２連結部を備えている。
【００２０】
また、第１４観点のパッティング練習具は、第１３観点のパッティング練習具であって、第１連結部および第２連結部の一方がマグネットであり、他方がマグネットまたは着磁性を有する金属である。
【００２１】
また、第１５観点のパッティング練習具は、第１３観点または第１４観点のパッティング練習具であって、第１ターゲット部の両端から第１ターゲット部の厚み方向に突出し、第１側壁の半円稜線における弦の方向および当該厚み方向に垂直な方向に貫通する貫通孔が形成された垂直突出部を備えている。
【発明の効果】
【００２２】
本観点によれば、ターゲット形状が常に一定であると共に、ポケットへの収納およびカラビナ等の保持具による保持が考慮されているパッティング練習具を提供することができる。
【図面の簡単な説明】
【００２３】

【図１】第１実施形態のパッティング練習具１の正面図である。
【図２】第１実施形態のパッティング練習具１の平面図である。
【図３】第１実施形態のパッティング練習具１の側面図である。
【図４】第１実施形態のパッティング練習具１が保持具に取り付けられた図である。
【図５】第１実施形態のパッティング練習具１がポケットに収納された図である。
【図６】第１実施形態のパッティング練習具１がターゲットとして使用される例を示した図である。
【図７】第１実施形態のパッティング練習具１に糸が取り付けられて使用される例を示した図である。
【図８】第２実施形態のパッティング練習具１００の側面図である。
【図９】第２実施形態の第１パッティング練習具１Ａの正面図である。
【図１０】第２実施形態の第２パッティング練習具１Ｂの正面図である。
【図１１】第３実施形態のパッティング練習具２００の正面図である。
【図１２】開いた形態の第４実施形態のパッティング練習具３００の正面図である。
【図１３】折りたたんだ形態の第４実施形態のパッティング練習具３００の正面図である。
【図１４】折りたたんだ形態の第４実施形態のパッティング練習具３００の平面図である。
【発明を実施するための形態】
【００２４】
以下に、図面を参照して本発明の一実施形態であるパッティング練習具について説明するが、本発明は、これらの実施形態に限定されるわけではない。
【００２５】
＜第１実施形態＞
＜＜構成＞＞
図１、図２、および図３は、それぞれ、第１実施形態のパッティング練習具１の正面図、図１におけるＹ２側から見た平面図、および図１におけるＸ１側から見た側面図である。なお、図２および図３は、パッティング練習具１が地面Ｇに設置された状態として描かれている。
【００２６】
なお、各図においては、互いに直交する座標軸であり、両端にＸ１およびＸ２の符号を付したＸ座標軸、両端にＹ１およびＹ２の符号を付したＹ座標軸、両端にＺ１およびＺ２の符号を付したＺ座標軸を示している。本明細書では、方向について、後述の湾曲したターゲット部２の両端を結ぶ線がＸ座標軸に平行、かつターゲット部２の厚み方向がＺ座標軸に平行なものとして、Ｘ方向、Ｙ方向、およびＺ方向の用語を用いて説明する。また、本明細書では、湾曲の向きについて、壁面の向く方向が収束する向きを内向き、壁面の向く方向が発散する向きを外向きとして説明する。
【００２７】
図１～図３に示すパッティング練習具１は、ゴルフ競技におけるパッティング練習において携帯されて、パッティングのターゲット（以降単に「ターゲット」と記載する。）として使用可能なパッティング練習具である。このパッティング練習具１は、パター練習場等でプレイヤーの所望の位置に置かれて、そのプレイヤー専用のターゲットとして利用される。また、パッティング練習具１は、ターゲットとなる板状で湾曲したターゲット部２と、カラビナ等による保持（キャッチ）を可能とするためのキャッチャー部３と、寝かせて置かれた際の固定に利用される水平突出部４と、立てて置かれた際の自立固定に利用される垂直突出部５とを備えている。また、パッティング練習具１は、全体的に非可撓性の材質で形成されている。ここでいう非可撓性とは、厳密に変形しないという意味ではなく、ゴムのように簡単に大きく変形するものではないという意味である。本実施形態のパッティング練習具１は、樹脂製であるが、金属製、木製、セラミック製であってもよい。
【００２８】

ターゲット部２は、板状で全体的に湾曲している本体２１と、本体２１の中央部でＺ（Ｚ２）方向に重ね合わされた第１下駄体２２と、本体２１の両端部でＺ（Ｚ２）方向に重ね合わされた第２下駄体２３とで構成されている。

【００２９】

本体２１は、内側の第１側壁２４が一定の曲率半径Ｒで内向きの半円弧状に湾曲し、第１側壁２４と対向する外側の第２側壁２５が外向きに湾曲している。本体２１は、第１側壁２４および第２側壁２５の両先端がＸ方向に並び、第１側壁２４から第２側壁２５までの幅がある程度一定になるように形成されている。本実施形態において、本体２１は、第１側壁２４の湾曲中心と第２側壁２５の湾曲中心とを一致させて形成されているが、これに限定されるものではない。また、本実施形態において、本体２１は、第１側壁２４の曲率半径Ｒがゴルフ競技におけるカップの半径サイズである５４ｍｍに設定されている。つまり、本体２１は、第１側壁２４の半円稜線における弦Ｄの長さ、言い換えると半円開口サイズ（両端間の距離）Ｄがゴルフ競技におけるカップ（以降単に「カップ」と記載する。）の直径サイズである１０８ｍｍになるように形成されている。なお、本体２１は、本実施形態のように第１側壁２４の曲率半径Ｒがカップのサイズをイメージできる５４ｍｍに設定されていることが好ましいが、これより小さくてもかまわない。ただし、本体２１は、後述するようなパッティング練習具１を自立させて使う練習に対応できるように、第１側壁２４の曲率半径Ｒが少なくてもゴルフボール（以降単に「ボール」と記載する。）の直径サイズである４３ｍｍより大きくなるように設定されている必要がある。

【００３０】

第１下駄体２２および第２下駄体２３は、板状で形成されており、それぞれ、本体２１の中央部および本体２１の両端部において、本体２１のＺ２方向の面に貼り合されている。また、第１下駄体２２および第２下駄体２３は、Ｚ方向から見た場合に、本体２１の第１側壁２２および第２側壁２３の一部と重なる側壁を有している。なお、以降の説明において、第１側壁２４および第２側壁２５は、本体２１の側壁のみならず、Ｚ方向から見た場合に本体２１の側壁と重なる第１下駄体２２および第２下駄体２３の側壁も含むものとする。また、本実施形態の第１下駄体２２および第２下駄体２３は、本体２１と同じ厚みで形成されているが、これに限るものではない。

【００３１】

このように構成されたターゲット部２は、中央部の第１下駄体２２の部分および両端部の第２下駄体２３の部分が厚くなっている。また、ターゲット部２には、第１側壁２４の半円稜線における弦Ｄの垂直二等分線Ｖ上で本体２１および第１下駄体２２を貫通する貫通孔２６が形成されている。この貫通孔２６は、ゴルフ競技において用いられるティーＴ（以降単に「ティーＴ」と記載する。）の先端の部分が通り、頭部の部分が通らない直径サイズで形成されている。

【００３２】

キャッチャー部３は、第２側壁２５から外側に張り出し、内側にカラビナやキーホルダーのリングといった保持具が通るサイズ（図４参照）で長穴状の貫通孔３１が形成されている。キャッチャー部３は、パッティング練習具１のＹ方向の幅を抑えるために、第２側壁２５のＸ方向の中央からずれた部分から張り出していることが好ましい。

【００３３】

水平突出部４は、第２側壁２５の両端部２箇所から板状に張り出す形でＸ方向外側に突出している。また、水平突出部４は、中央にＺ方向に貫通する貫通孔４１が形成されている。この貫通孔４１は、ティーＴの先端の部分が通り、頭部の部分が通らない直径サイズで形成されている。パッティング練習具１は、寝かせて地面Ｇに置かれた状態で貫通孔４１にティーＴ等が差し込まれることで、地面Ｇに寝かせて固定される。

【００３４】

垂直突出部５は、Ｘ方向およびＺ方向に沿って広がる板状で、本体２１の両端２箇所からＺ１方向に突出している。また、垂直突出部５は、中央にＹ方向に貫通する貫通孔５１が形成されている。この貫通孔５１は、ティーＴの先端の部分が通り、頭部の部分が通ら

ない直径サイズで形成されている。パッティング練習具１は、立てて地面Ｇに置かれた状態で貫通孔５１にティーＴ等が差し込まれることで、地面Ｇに自立固定される。なお、本実施形態において垂直突出部５は板状に形成されているが、ブロック状であってもよい。ただし、垂直突出部５は、Ｙ２方向側の面がターゲット部２のＺ２方向側の面に対して垂直となるように形成される。

【００３５】

＜＜使用例＞＞

以下に第１実施形態のパッティング練習具１の使用方法を説明する。パッティング練習具１は、パッティング練習において、プレイヤーに携帯されると共に、地面に設置されてパッティング練習のターゲットにされることを想定している。

【００３６】

まずは、パッティング練習具１の携帯性について、例を挙げて説明する。図４は、パッティング練習具１がカラビナ（保持具）Ｋに取り付けられた図である。パッティング練習具１は、キャッチャー部３の貫通孔３１に、チェーンＪを介してパターカバーＩに設けられたカラビナＫが通されて保持されている。このように、パッティング練習具１は、パッティング練習の際に必須のパタークラブＨと共に持ち運びが可能となっているため、携帯されやすい。

【００３７】

図５は、パッティング練習具１がズボンＮのポケットＰに収納された図である。パッティング練習具１は、キャッチャー部３から遠い端部からポケットＰに差し込まれ、キャッチャー部３から近い端部が上にくるようにしてポケットＰに収納されている。パッティング練習具１は、円環状ではなく半円弧状をしているため、このような向きでポケットＰへの収納が可能となっている。ところで、図５に示すパッティング練習具１は、キャッチャー部３にカラビナ等の保持具が取り付けられていないが、キャッチャー部３にカラビナ等の保持具を介してパターカバーを取りつければ、パタークラブから外したパターカバーの持ち運びに便利である。パッティング練習具１は、パターカバーを取り付けた場合にパターカバーの重みで引っ張られても、水平突出部４および垂直突出部５がポケットＰ内で抵抗となるので、ポケットＰから落ちにくい。

【００３８】

次にパッティング練習具１を用いた練習について、例を挙げて説明する。図６は、パッティング練習具１がターゲットとして使用される例を示した図であり、パター練習場の斜面等で目的のラインＬが曲がった状況における練習に使用される例である。この例では、パッティング練習具１が２つ用いられている。説明の便宜上、図６においては、それぞれのパッティング練習具に１Ｈまたは１Ｖの符号を付している。

【００３９】

パッティング練習具１Ｈは、カップ位置を想定した所望の場所に、第１側壁２４の半円開口を目的のラインＬに向けて地面に寝かせて設置されている。また、パッティング練習具１Ｈは、水平突出部４における貫通孔４１にティーＴが差し込まれて固定されている。これによりパッティング練習具１Ｈは、第１側壁２４を最終的にボールＢが導かれる先とする目標ターゲットとして使用される。また、パッティング練習具１Ｈは、風が吹いたり、ボールＢが当たったりした程度では簡単にずれない。

【００４０】

パッティング練習具１Ｖは、目的のラインＬをまたぐような所望の場所に、垂直突出部５を地面に接地させて、立てて設置されている。また、パッティング練習具１Ｖは、垂直突出部５における貫通孔５１にティーＴが差し込まれて自立した状態で固定されている。パッティング練習具１Ｖの第１側壁２４は、前述したようにボールＢの直径よりも大きい曲率半径で形成されている。このため、ボールＢは、第１側壁２４と地面との間を通過可能である。これによりパッティング練習具１Ｖは、第１側壁２４をボールＢが通過させるゲートとする通過ターゲットとして使用される。また、パッティング練習具１Ｖは、風が吹いたり、ボールＢが当たったりした程度では簡単にずれたり倒れたりしない。

【００４１】
図７は、パッティング練習具１に糸Ｗが取り付けられて使用される例を示した図である。パッティング練習具１は、地面に寝かせて設置され、水平突出部４における貫通孔４１にティーＴが差し込まれて固定されている。また、パッティング練習具１は、本体２１における貫通孔２６に糸Ｗが取り付けられたティーＴが差し込まれている。この糸Ｗを第１側壁２４の曲率半径の中心を通るようして張ることで、目標ターゲットに向かう中心ラインが明確に見えるようになる。たとえば、糸を張った状態でパッティングを行うと、ボールＢの曲がり方の把握等がわかりやすい。
【００４２】
その他、パッティング練習具１は、カップ位置を想定した所望の場所に立てて設置され、パッティング練習具１を通過した後の止まったボールの位置からパッティングの距離感をつかむ練習にも使用可能である。
【００４３】
＜＜効果＞＞
パッティング練習具１は、内側の第１側壁２４が内向きの半円弧状に湾曲するターゲット部２を備えている。第１側壁２４が半円弧状であるが、第１側壁２４にボールＢを当てるためにボールＢが打ち出される角度範囲は、この曲率半径Ｒと同半径の円形上を通過させるためにボールＢが打ち出される角度範囲と同等である。このため、パッティング練習具１は、第１側壁２４がターゲットとなるパッティング練習具として機能する。また、パッティング練習具１は、非可撓性であるため、ターゲット形状が常に一定に保たれている。また、パッティング練習具１は、ターゲット（第１側壁２４）が半円弧状に形成されているため、円形のターゲットと比べてＹ方向の幅寸法が抑えられている。これにより、パッティング練習具１は、ポケットＰに収納しやすく構成される。さらに、パッティング練習具１は、非可撓性でターゲット部２の外側の第２側壁２５から張り出して貫通孔３１が形成されたキャッチャー部３を備えている。これにより、パッティング練習具１は、伸びてちぎれる恐れなく、この貫通孔３１が利用されてカラビナＫ等の保持具によって保持される。したがって、本実施形態によれば、ターゲット形状が常に一定であると共に、ポケットＰへの収納およびカラビナＫ等の保持具による保持が考慮されているパッティング練習具が提供される。
【００４４】
また、パッティング練習具１は、第１側壁２４の曲率半径ＲがボールＢの直径より大きくゴルフ競技におけるカップの半径以下で形成されている。これにより、パッティング練習具１は、横に寝かせて設置された場合に第１壁面２４の半円開口ＤをボールＢが通過可能であるのはもちろんであるが、立ててゲート状設置された場合に地面Ｇと第１側壁２４との間をボールＢが通過可能である。このため、プレイヤーは、パッティング練習具１を立ててゲート状に設置することで、通過した後のボールＢの位置等からパッティングの距離感をつかむ練習等を行うことができる。
【００４５】
また、パッティング練習具１は、第１側壁２４の曲率半径Ｒがゴルフ競技におけるカップの半径と同じである。したがって、本実施形態によれば、ゴルフ競技におけるカップのサイズを意識したパッティング練習に利用可能なパッティング練習具が提供される。
【００４６】
また、パッティング練習具１は、第２側壁２５が外向きに湾曲している。これによりパッティング練習具１は、第１側壁２４と第２側壁２５とが局所的に大きく離れず、無駄に大きくならない。したがって、本実施形態によれば、ポケットＰに収納しやすいパッティング練習具が提供される。
【００４７】
また、パッティング練習具１は、第２側壁２５の両端部から突出して貫通孔４１が形成された水平突出部４を備えている。これによりプレイヤーは寝かせた状態のパッティング練習具１を、貫通孔４１にティーＴ等を差し込むことで地面Ｇに固定できる。したがって

、本実施形態によれば、風やボールＢが当たったりしても位置がずれにくいパッティング練習具が提供される。なお、パッティング練習具１は、ポケットＰに収納された際に水平突出部４がポケットＰ内で抵抗になってポケットＰから落ちにくい。

【００４８】

また、パッティング練習具１は、ターゲット部２の両端からターゲット部２の厚み方向（Ｚ１方向）に突出し、貫通孔５１が形成された垂直突出部５を備えている。これによりプレイヤーは、自立させた状態のパッティング練習具１を、貫通孔５１にティーＴ等を差し込むことで地面Ｇに固定できる。したがって、本実施形態によれば、風やボールＢが当たったとしても自立させた状態が維持可能なパッティング練習具が提供される。なお、パッティング練習具１は、ポケットＰに収納された際に垂直突出部５がポケットＰ内で抵抗になってポケットＰから落ちにくい。

【００４９】

また、パッティング練習具１は、ターゲット部２に貫通孔２６が形成されている。これによりプレイヤーは、糸Ｗが取り付けられたティーＴを貫通孔２６に差し込むことでラインの方向を確認できる。したがって、本実施形態によれば、ターゲットに向かうラインを確認して行われるパッティング練習に利用可能なパッティング練習具が提供される。

【００５０】

また、パッティング練習具１は、ターゲット部２に形成された貫通孔２６が第１側壁２４の半円稜線における弦Ｄの垂直二等分線Ｖ上にある。これによりプレイヤーは、糸Ｗが取り付けられたティーＴを貫通孔２６に差し込んで、糸Ｗを半円の中心を通るように張ることでターゲットに向かう中心ラインを確認することができる。したがって、本実施形態によれば、ターゲットに向かう中心ラインを確認して行われるパッティング練習に利用可能なパッティング練習具が提供される。

【００５１】

また、パッティング練習具１は、ターゲット部２の中央部および両端部の厚みが部分的に厚くなっている。これにより、パッティング練習具１は、横に寝かせて設置された場合にターゲット部２が高くなり視認性が向上されている。また、パッティング練習具１は、ターゲット部２の厚みが厚い部分と薄い部分との段差が滑り止めの役割をはたし、風等によって設置した位置がずれにくくなっている。したがって、本実施形態によれば、視認性および設置位置の安定性が改善されたパッティング練習具が提供される。

【００５２】

＜第２実施形態＞

図８は、第２実施形態のパッティング練習具１００の側面図である。パッティング練習具１００は、分離してそれぞれが独立してターゲットとして使用可能な第１パッティング練習具１Ａと第２パッティング練習具１Ｂとで構成されている。第１パッティング練習具１Ａおよび第２パッティング練習具１Ｂの構成要素の多くは、第１実施形態のパッティング練習具１の構成要素と同様である。このため、第１実施形態のパッティング練習具１の構成要素と同様の構成要素については、同一の数字を含む符号を付して、その説明を省略または簡略する。なお、パッティング練習具１００は、第１パッティング練習具１Ａおよび第２パッティング練習具１Ｂのそれぞれに同様の構成要素がある。このため、符号については、同一の数字の後に、第１パッティング練習具１Ａを構成する要素についてはＡ、第２パッティング練習具１Ｂを構成する要素についてはＢの記号を付している。第１パッティング練習具１Ａ、第２パッティング練習具１Ｂには、お互いを着脱可能に連結するために、それぞれ第１連結部６Ａ，第２連結部６Ｂを備えている。これにより、パッティング練習具１００は、図８に示すように第１パッティング練習具１Ａと第２パッティング練習具１Ｂとが重ね合う形で連結される。

【００５３】

図９は、第２実施形態の第１パッティング練習具１Ａの正面図である。パッティング練習具１Ａは、樹脂製で、板状で湾曲した第１ターゲット部２Ａと、カラビナ等による保持を可能とするためのキャッチャー部３Ａと、立てて置かれた際の自立固定に利用される垂

直突出部５Ａと、パッティング練習具１Ｂに連結するための第１連結部６Ａとを備えている。パッティング練習具１Ａは、第１実施形態のパッティング練習具１に対し、第１連結部６Ａを備える点、水平突出部を備えていない点、垂直突出部５Ａの突出する方向が異なる点以外は同様である。

【００５４】

第１ターゲット部２Ａは、本体２１Ａと、第１下駄体２２Ａと、第２下駄体２３Ａとで構成されている。本体２１Ａは、内側の第１側壁２４Ａおよび第１側壁２４Ａと対向する外側の第２側壁２５Ａを有している。本体２１Ａは、第１側壁２４Ａがカップの半径サイズである５４ｍｍの曲率半径で内向きの半円弧状に湾曲している。本体２１Ａは、両端部に後述する第１連結部６Ａをはめ込むための貫通孔が形成されている。第１下駄体２２Ａおよび第２下駄体２３Ａは、第１実施形態と同様に本体２１ＡのＺ２方向側に貼りつけられている。

【００５５】

キャッチャー部３Ａは、第２側壁２５Ａから張り出して形成されている。キャッチャー部３Ａには、長穴状の貫通孔３１Ａが形成されている。

【００５６】

垂直突出部５Ａは、本体２１Ａの両端２箇所から、第１実施形態とは逆にＺ２方向に突出している。垂直突出部５Ａは、ターゲット部に対して突出している方向が第１実施形態の垂直突出部５と反対であるが、形状については同様であり、Ｙ方向に貫通する貫通孔５１Ａが形成されている。

【００５７】

第１連結部６Ａは、Ｚ方向で対向する両面の極性が異なるマグネットであり、本体２１Ａの両端部に形成された貫通孔にはめ込まれて固着されている。

【００５８】

図１０は、第２実施形態の第２パッティング練習具１Ｂの正面図である。パッティング練習具１Ｂは、樹脂製で、板状で湾曲した第２ターゲット部２Ｂと、カラビナ等による保持を可能とするためのキャッチャー部３Ｂと、寝かせて置かれた際の固定に利用される水平突出部４Ｂと、パッティング練習具１Ａに連結するための第２連結部６Ｂとを備えている。パッティング練習具１Ｂは、第１実施形態のパッティング練習具１に対し、第２連結部６Ｂを備える点、垂直突出部を備えていない点、第２ターゲット部２Ｂが対称形状である点以外は同様である。

【００５９】

第２ターゲット部２Ｂは、本体２１Ｂと、第１下駄体２２Ｂと、第２下駄体２３Ｂとで構成されている。本体２１Ｂは、第１ターゲット部２Ａの本体２１Ａと同形状であり、内側の第４側壁２４Ｂが第１ターゲット部２Ａの第１側壁２４Ａと対応している。本体２１Ｂは、両端部に、後述する第１連結部６Ａをはめ込むための貫通孔が形成されている。第１下駄体２２Ｂおよび第２下駄体２３Ｂは、第１ターゲット部２Ａとは反対に、本体２１ＢのＺ１方向側に貼りつけられている。これにより、第２ターゲット部２Ｂは、第１ターゲット部２Ａに対して対称形状となっている。

【００６０】

キャッチャー部３Ｂは、第２側壁２５Ｂから張り出して形成されている。キャッチャー部３Ｂには、長穴状の貫通孔３１Ｂが形成されている。キャッチャー部３Ｂは、Ｚ方向から見た場合にパッティング練習具１Ａのキャッチャー部３Ａと稜線が一致している。

【００６１】

水平突出部４Ｂは、第２ターゲット部２Ｂの第２側壁２５Ｂの両端部２箇所からＸ方向外側に突出しており、貫通孔４１Ｂが形成されている。

【００６２】

第２連結部６Ｂは、Ｚ方向で対向する両面の極性が異なるマグネットであり、本体２１Ｂの両端部に形成された貫通孔にはめ込まれて固着されている。なお、第２連結部６Ｂのマグネットにおけるｚ１側の面の極性は、第１連結部６Ａのマグネットにおけるｚ２側の

面の極性と反対となっている。また、Ｚ方向から見て、第１ターゲット部２Ａと第２ターゲット部２Ｂとを外形を合わせて重ならせた場合に、第２連結部６Ｂは、第１連結部６Ａと重なる位置に固着されている。これにより、第１パッティング練習具１Ａと第２パッティング練習具１Ｂとは、互いの第２下駄体２３Ａ，２３Ｂを対峙させて、第１側壁２４Ａと第４側壁２４Ｂとを対応させた形で取り外し可能に連結される。

【００６３】

なお、本実施形態において第１連結部６Ａおよび第２連結部６Ｂは、ともにマグネットであるが、一方がマグネットで他方が着磁性を有する金属であってもよい。また、第１連結部６Ａおよび第２連結部６Ｂは、マグネットを用いずに一方を凸形状、他方を凹形状で形成することで、嵌合によって連結可能に構成してもよい。

【００６４】

このように構成されたパッティング練習具１００は、第１実施形態のパッティング練習具１と同様の構成要素を有しており、パッティング練習具１と同様の効果を奏する。さらに、パッティング練習具１００は、それぞれがターゲットとして機能する第１側壁２４Ａを含む第１ターゲット部２Ａと第４側壁２４Ｂを含む第２ターゲット部２Ｂとを備えている。また、第１ターゲット部２Ａ，第２ターゲット部２Ｂは、それぞれお互いを重ね合わせて連結可能とする第１連結部６Ａ，第２連結部６Ｂを備えている。パッティング練習具１００は、第１ターゲット部２Ａと第２ターゲット部２Ｂとが第１側壁２４Ａと第４側壁２４Ｂを対応させた形で連結可能に構成されている。これにより、プレイヤーは、第１ターゲット部２Ａと第２ターゲット部２Ｂとを分離させることで、たとえば図６に示すような２つのターゲットを用いた練習を行うことができる。また、パッティング練習具１００は、第１ターゲット部２Ａと第２ターゲット部２Ｂとが連結されることで、ポケットＰへの収納やカラビナＫ等の保持具による保持の点で携帯性が向上されたものになっている。したがって、本実施形態によれば、ポケットＰへの収納およびカラビナＫ等の保持具による保持が考慮されていると共に、同時に使用できる２つのターゲットを有するパッティング練習具が提供される。

【００６５】

また、パッティング練習具１００は、第１連結部６Ａおよび第２連結部６Ｂの一方がマグネットであり、他方がマグネットまたは着磁性を有する金属である。したがって、本実施形態によれば、第１ターゲット部２Ａと第２ターゲット部２Ｂとが簡単に着脱できるパッティング練習具が提供される。

【００６６】

また、パッティング練習具１００は、第１ターゲット部２Ａの両端から第１ターゲット部２Ａの厚み方向（Ｚ２方向）に突出し、貫通孔５１Ａが形成された垂直突出部５Ａを備えている。これにより、プレイヤーは、自立させた状態のパッティング練習具１Ａを貫通孔５１Ａにティー Ｔ等を差し込むことで地面に固定される。したがって、本実施形態によれば、第２ターゲット部２Ｂを横に寝かせたターゲットにして、第１ターゲット部２Ａを自立させてラインの確認をするといったパッティング練習に利用可能なパッティング練習具が提供される。

【００６７】

＜第３実施形態＞

図１１は、第３実施形態のパッティング練習具２００の正面図である。パッティング練習具２００の構成要素の多くは、第１実施形態のパッティング練習具１の構成要素と同様である。このため、第１実施形態のパッティング練習具１の構成要素と同様の構成要素については、同一の数字の後にＣの記号加えた符号を付して、その説明を省略または簡略する。

【００６８】

パッティング練習具２００は、樹脂製で、ターゲットとなる板状で湾曲したターゲット部２Ｃと、カラビナ等による保持を可能とするためのキャッチャー部３Ｃと、ターゲット部２Ｃよりも小さなターゲットとなる小ターゲット部７とを備えている。パッティング練

習具２００は、第１実施形態のパッティング練習具１に対し、小ターゲット部７を備える点、水平突出部および垂直突出部を備えていない点以外は同様である。

【００６９】

ターゲット部２Ｃは、本体２１Ｃと、第１下駄体２２Ｃと、第２下駄体２３Ｃとで構成されている。本体２１Ｃは、内側の第１側壁２４Ｃおよび第１側壁２４Ｃと対向する外側の第２側壁２５Ｃを有している。本体２１Ｃは、第１側壁２４Ｃがカップの半径サイズである５４ｍｍの曲率半径で内向きの半円弧状に湾曲して形成されている。第１下駄体２２Ｃおよび第２下駄体２３Ｃは、第１実施形態と同様に本体２１ＣのＺ２方向側に貼りつけられている。

【００７０】

キャッチャー部３Ｃは、第２側壁２５Ｃから張り出して形成されている。キャッチャー部３Ｃには、長穴状の貫通孔３１Ｃが形成されている。

【００７１】

小ターゲット部７は、板状で、第２側壁２５Ｂの端部から張り出している。小ターゲット部７は、第２の曲率半径Ｒ２で内向きの半円弧状で湾曲する第３側壁７１を有している。なお、本実施形態において、小ターゲット部７は、第２の曲率半径Ｒ２がボールの半径サイズよりわずかに大きい２２ｍｍに設定されているが、これに限定されるものではない。小ターゲット部７は、第２の曲率半径Ｒ２がボールの半径より大きく第１側壁２４Ｃの曲率半径よりも小さくなるように設定されればよい。

【００７２】

パッティング練習具２００は、ターゲット部２Ｃとは別に、ターゲットにできる半円弧状の第３側壁７１を有する小ターゲット部７を備えている。この第３側壁７１は、第１側壁の曲率半径よりも小さな第２の曲率半径Ｒ２で形成されている。したがって本実施形態によれば、ターゲット部２Ｃよりもターゲットサイズが小さい小ターゲット部７をパッティングの精度を向上させる練習に利用可能なパッティング練習具が提供される。なお、このパッティング練習具２００は、ポケットに収納した際に小ターゲット部７がポケット内で抵抗になってポケットから落ちにくい。

【００７３】

＜第４実施形態＞

第4実施形態のパッティング練習具３００は、後述するように折りたたみ可能に構成されている。図１２、図１３、および図１４は、それぞれ、第４実施形態のパッティング練習具３００の開いた形態の正面図、折りたたんだ形態の平面図、および折りたたんだ形態の正面図である。パッティング練習具３００の構成要素の多くは、第１実施形態のパッティング練習具１の構成要素と同様である。このため、図１２～図１４では、第１実施形態のパッティング練習具１の構成要素と同様の構成要素については、同一の数字の後にＤ、Ｌ、またはＲの記号加えた符号を付して、その説明を省略または簡略する。

【００７４】

図１２～図１４に示すパッティング練習具３００は、開いた形態で第1実施形態のパッティング練習具１と同等の機能を発揮するものである。パッティング練習具３００は、ターゲット部２Ｄが中央部で第１分割ターゲット部分２Ｌと第２分割ターゲット部分２Ｒとに分割されて構成されている。具体的には、パッティング練習具３００は、半円弧状のターゲット部２ＤがＸ方向中央で２つの四半円弧状に分割され、Ｘ１側が第１分割ターゲット部分２Ｌ、Ｘ２側が第２分割ターゲット部分２Ｒとして構成されている。また、パッティング練習具３００は、第１分割ターゲット部分２Ｌと第２分割ターゲット部分２Ｒとを、Ｙ方向かつ半径方向に延びる折りたたみ線Ｑ（「回転軸線Ｑ」ともいう）に対して折りたたみ可能に接続するヒンジ部８と、カラビナ等による保持を可能とするためのキャッチャー部３Ｄと、寝かせて置かれた際の固定に利用される水平突出部４Ｌ，４Ｒと、立てて置かれた際の自立固定に利用される垂直突出部５Ｌ，５Ｒとを備えている。

【００７５】

ターゲット部２Ｄは、第１分割ターゲット部分２Ｌ，第２分割ターゲット部分２Ｒそれ

ぞれに、全体的に四半円弧状に湾曲している本体２１Ｌ，２１Ｒと、開いた形態において折りたたみ線Ｑに対して非対称の位置でＺ１方向へ突出する複数の下駄体２２Ｌ,２２Ｒとで構成されている。

【００７６】

本体２１Ｌ,２１Ｒは、それぞれ、内側の第１側壁２４Ｌ，２４Ｒが一定の曲率半径Ｒで内向きの四半円弧状に湾曲し、第１側壁２４Ｌ，２４Ｒと対向する外側の第２側壁２５Ｌ，２５Ｒが外向きに湾曲している。本体２１Ｌ，２１Ｒは、それぞれ、第１側壁２４Ｌ，２４Ｒから第２側壁２５Ｌ，２５Ｒまでの幅がある程度一定になるように形成されている。本体部２１Ｌ，２１Ｒは、折りたたんだ時に少なくとも下駄体２２Ｌ，２２Ｒに対面する部分の厚みが下駄体２２Ｌ，２２Ｒと干渉しないように薄く形成されている。具体的に本実施形態における本体部２１Ｌ，２１Ｒには、後述するように円筒状で突出する下駄体２２Ｌ，２２Ｒに対応させて、円柱状の凹みである逃げ部２７Ｒ，２７Ｌが形成されている。これにより本体部２１Ｌ，２１Ｒの逃げ部２７Ｌ，２７Ｒにおける厚みは、折りたたんだ時に下駄体２２Ｌ，２２Ｒに干渉しないよう薄くなっている（図１４参照）。逃げ部２７Ｌ，２７Ｒは、折りたたんだ時に下駄体に干渉しなければよく、本実施形態のような円柱状の凹みに限らない。たとえば、本体部２１Ｌ，２１Ｒが、周囲の部分を厚く中央の部分を薄く形成され、中央の部分を逃げ部２７Ｌ，２７Ｒとして構成されてもよい。

【００７７】

下駄体２２Ｌ，２２Ｒは、本体２１Ｌ，２１Ｒの図１２におけるＺ１側の面から、円筒状で突出している。下駄体２２Ｌ，２２Ｒは、本体２１Ｌ，２１Ｒからそれぞれ複数突出しているが、折りたたみ線Ｑに対して非対称の位置、すなわち折りたたんだ時に同じ位置にならないように形成されている。下駄体２２Ｌ，２２Ｒは、パッティング練習具３００を開いた形態で下駄部２２Ｌ，２２Ｒを下にして置いた際に第１側壁２４Ｌ，２４Ｒが所望の高さになるように、突出量が定められている。下駄体２２Ｌ，２２Ｒは、第１側壁２４Ｌ，２４Ｒを所望の高さに持ち上げられればよく、本実施形態のような円筒状の突起に限らない。たとえば、矩形状の板を張り合わせたものであってもよい。

【００７８】

ヒンジ部８は、ターゲット部２Ｄの中央部において、第１分割ターゲット部分２Ｌに固定されている軸体８１と、第２分割ターゲット部分２Ｒに固定されている軸受体８２とで構成されている。軸体８１は、ブロック状の軸土台８１ａと、軸土台８１ａのＹ方向両側のそれぞれの面から、回転軸線Ｑ（折りたたみ線Ｑ）を中心とする円柱状で突出する２つの軸８１ｂとで構成されている。軸体８１は、回転軸線Ｑが本体部２１Ｌ，２１ＲのＺ１側の面上または面上よりもわずかにＺ１側になるように形成されている。軸受体８２は、ブロック状の軸受土台８２ａと、軸受土台８２ａから突出して、軸８１ｂを回転軸線Ｑ中心に回転可能に抱え込む２つの軸受８２ｂとにより構成されている。本実施形態のヒンジ部８は、軸体８１が第１分割ターゲット部分２Ｌと一体に、軸受体８２が第２分割ターゲット部分２Ｒと一体に樹脂にて形成されているが、これに限らない。たとえば、ヒンジ部８を金属製の蝶番とし、蝶番のそれぞれの板を第１分割ターゲット部分２Ｌおよび第２分割ターゲット部分２Ｒにネジ止めしてもよい。

【００７９】

水平突出部４Ｌ，４Ｒは、基本的には第１実施形態の水平突出部４と同様であるが、図１２におけるＺ１側の面が下駄体２２Ｌ，２２ＲのＺ１側の面と同一平面上になるように形成されている。また、水平突出部４Ｒは、水平突出部４Ｌに対してわずかに大きく形成されていると共に、折りたたんだ形態において水平突出部４Ｌが内側に入り込めるように内側が薄く形成されている。水平突出部４Ｌ，４Ｒには、折りたたんだ時に対応するそれぞれの位置に、折りたたんだ形態を維持可能とする維持部９（第１維持部９Ｌおよび第２維持部９Ｒ）が形成されている。

【００８０】

第１維持部９Ｌは、水平突出部４ＬのＹ方向両側の面から突出する突起である。第２維持部９Ｒは、折りたたんだ時に第１維持部９Ｌが入り込み、第１維持部９ＬのＹ方向の面が

が、わずかに干渉するように構成された溝である。維持部９は、第１維持部９Ｌと第２維持部９Ｒとが対面すると、その状態を維持しようとし、これらを引き離す際には所定の力を加えることを要する。本実施形態では、維持部９は、干渉させることで摩擦力によって対面した状態を維持するよう構成されているが、これに限らない。たとえば、維持部９は、第１維持部９Ｌおよび第２維持部９Ｒが突起形状で形成され、開いた形態から閉じた形態に移行し終わる直前に第１維持部９Ｌが第２維持部９Ｒを乗り越えるように構成されてもよい。また、維持部９は、第１維持部９Ｌおよび第２維持部９Ｒが一方をマグネット、他方をマグネットまたは着磁性を有する金属で構成されてもよい。また、本実施形態では、維持部９は、水平突出部４Ｌ，４Ｒに形成されているが、折りたたんだ形態において対面する位置であれば、別の部分に構成されてもよい。

【００８１】

キャッチャー部３Ｄおよび垂直突出部５Ｌ，５Ｒは、第１実施形態のキャッチャー部３および垂直突出部５と同様である。

【００８２】

このように構成されたパッティング練習具３００は、半円弧状のターゲット部２Ｄが四半円弧状の第１分割ターゲット部分２Ｌと第２分割ターゲット部分２Ｒとに分割されて構成されている。また、パッティング練習具３００は、第１分割ターゲット部分２Ｌと第２分割ターゲット部分２Ｒとを半径方向に延びる折りたたみ線Ｑに対して折りたたみ可能に接続するヒンジ部８を有している。これにより、パッティング練習具３００は、折りたたんだ時に、第１分割ターゲット部分２Ｌと第２分割ターゲット部分２Ｒとが重なり、図１３に示すように全体的に四半円弧状となる。これにより、パッティング練習具３００は、折りたたんだ時に、周方向の長さが短くなる。したがって、本実施形態によれば、コンパクトで、浅いポケットにも収納しやすいパッティング練習具が提供される。

【００８３】

また、パッティング練習具３００は、ターゲット部２Ｄが第１分割ターゲット部分２Ｌおよび第２分割ターゲット部分２Ｒそれぞれにおいて、厚み方向へ突出する複数の下駄体２２Ｌ，２２Ｒを有している。これにより、パッティング練習具３００は、横に寝かせて設置された場合にターゲット部２Ｄが高くなり視認性が向上されている。また、パッティング練習具３００は、下駄体２２Ｌ，２２Ｒが滑り止めの役割をはたし、風等によって設置した位置がずれにくくなっている。したがって、本実施形態によれば、視認性および設置位置の安定性が改善されたパッティング練習具が提供される。

【００８４】

また、パッティング練習具３００は、ターゲット部２Ｄが下駄体２２Ｌ，２２Ｒが折りたたみ線Ｑに対して非対称の位置形成されているのと共に、折りたたんだ時に少なくとも下駄体２２Ｌ，２２Ｒに対面する部分の厚みが下駄体と干渉しないように薄く形成されている。これにより、パッティング練習具３００は、折りたたんだ際の厚みが抑えられている。したがって、本実施形態によれば、ポケットに収納しやすいパッティング練習具が提供される。

【００８５】

また、パッティング練習具３００は、折りたたんだ状態を維持可能とする維持部９（第１維持部９Ｌ，第２維持部９Ｒ）を有している。これにより、パッティング練習具３００は、折りたたんだ形態で振動が加わったとしても、不要に開かないよう構成されている。したがって、本実施形態によれば、安定した形態で持ち運びしやすいパッティング練習具が提供される。

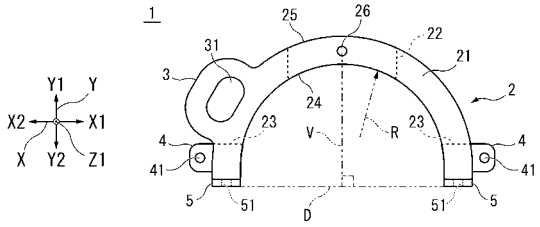
【符号の説明】

【００８６】

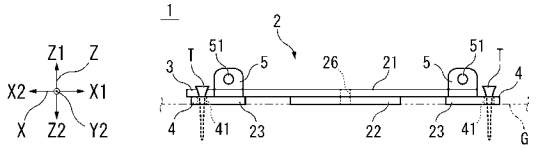
１，１Ａ，１Ｂ，１Ｈ，１Ｖ，１００，２００，３００‥パッティング練習具
２，２Ｃ，２Ｄ‥ターゲット部
２Ａ‥第１ターゲット部
２Ｂ‥第２ターゲット部

２Ｌ‥第１分割ターゲット部分
２Ｒ‥第２分割ターゲット部分
　２２Ｌ，２２Ｒ‥下駄体
　２４，２４Ａ，２４Ｃ，２４Ｌ，２４Ｒ‥第１側壁
　２４Ｂ‥第４側壁
　２５，２５Ａ，２５Ｂ，２５Ｃ，２５Ｌ，２５Ｒ‥第２側壁
　２６，２６Ａ，２６Ｂ‥貫通孔
３，３Ａ，３Ｂ，３Ｃ，３Ｄ‥キャッチャー部
　３１，３１Ａ，３１Ｂ，３１Ｃ，３１Ｄ‥貫通孔
４，４Ｂ，４Ｌ，４Ｒ‥水平突出部
　４１，４１Ｂ，４１Ｌ，４１Ｒ‥貫通孔
５，５Ａ，５Ｌ，５Ｒ‥垂直突出部
　５１、５１Ａ，５１Ｌ，５１Ｒ‥貫通孔
６Ａ‥第１連結部
６Ｂ‥第２連結部
７‥小ターゲット部
　７１‥第３側壁
８‥ヒンジ部
９Ｌ‥第１維持部
９Ｒ‥第２維持部
Ｂ‥ゴルフボール
Ｄ‥弦（半円開口サイズ）
Ｋ‥カラビナ
Ｐ‥ポケット
Ｑ‥折りたたみ線（回転軸線）
Ｒ‥曲率半径
Ｒ２‥第２の曲率半径
Ｖ‥（弦の）垂直二等分線

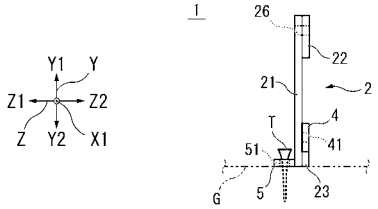
【図１】



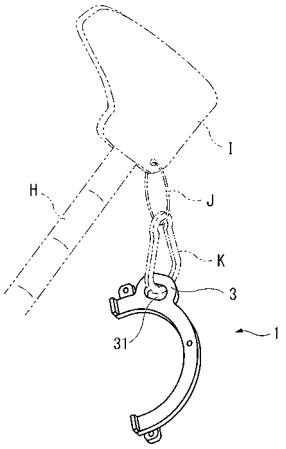
【図２】



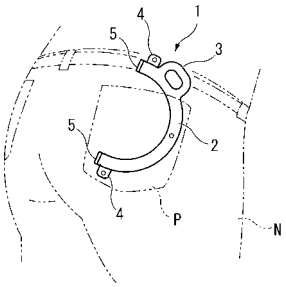
【図３】



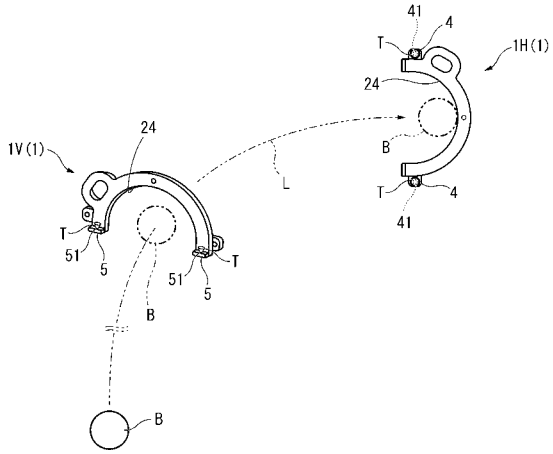
【図４】



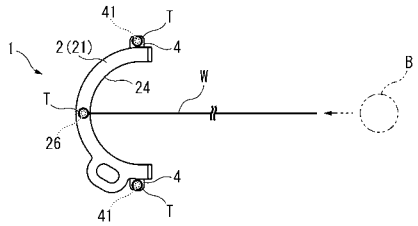
【図５】



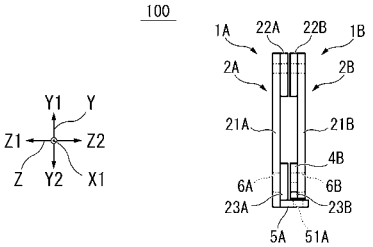
【図６】



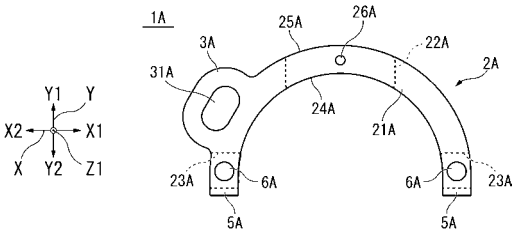
【図７】



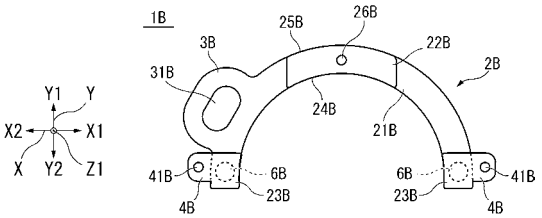
【図８】



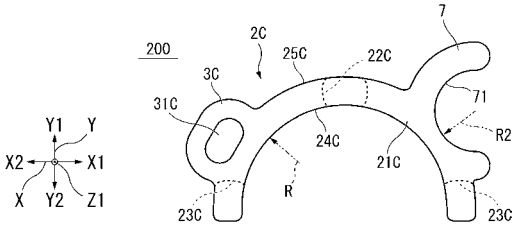
【図９】



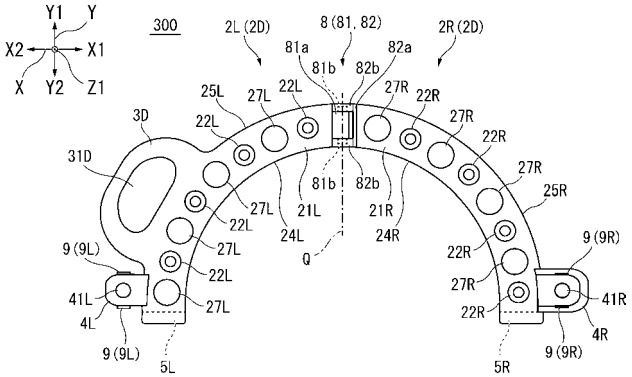
【図１０】



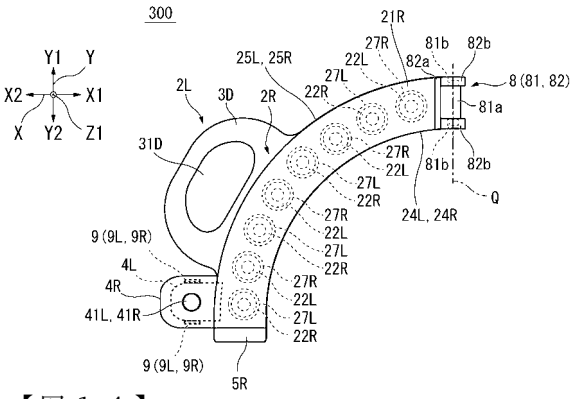
【図１１】



【図１２】



【図１３】



【図１４】

